

《養成講座の内容》

◎養成講座は、グループ研修と講義で構成されています。

◎グループ研修は土曜日の午前または午後の2時間～2時間半の予定です。時間帯は応募状況により決定します。講義は原則として月1回、土曜日の午前または午後の2時間で実施します。

—2024年度の実施例—

1年目『電話相談の基礎を学ぶ』

第1課程

6月～9月

- グループ研修（月2回程度）
『心の動きに目を向けるワーク』
- 講義
 - ・「『いのちの電話』の基本理念—ビフレンディングということ」
永原伸彦（笠間の森カウンセリングルーム）
 - ・「養成講座の学び方」
寺川亜弥子（臨床心理士）
 - ・「いのちの電話とボランティア—相談員になるということ—」
杉江 征（筑波大学）
茨城いのちの電話研修スタッフ
- 宿泊研修（2泊3日・必修）

第2課程

10月～1月

- グループ研修（月2回程度）
『聴き方のトレーニング』
- 講義
 - ・「家族」
三輪壽二（茨城大学）
 - ・「精神障害」
堀 孝文
（県立こころの医療センター）
 - ・「思春期」
守屋英子（臨床心理士）
 - ・「働く人のメンタルヘルス」
沼田世里（茨城大学）

第3課程

2月～5月

- グループ研修（月2回程度）
『電話相談の対応について学ぶ』
- 講義
 - ・「危機介入」
大滝 優（筑波大学）
 - ・「聴くということ」
杉江 征（筑波大学）
- 進級式

2年目『電話相談の実際を学ぶ』

第4課程

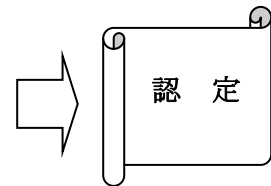
6月～10月

- 電話担当実習（月1～2回）
- グループ研修（月1回）
- 講義
 - ・「精神障害者への理解と対応」
大久保文代（地域活動支援センター）
 - ・「性に関わる電話への理解と対応」
茨城いのちの電話研修スタッフ

第5課程

11月～3月

- 電話担当実習（月2回）
- グループ研修（月1回）
- 講義
 - ・「いのちの電話の理念と役割」
茨城いのちの電話研修スタッフ



※宿泊研修は必修です。ただし、状況により内容を変更する場合があります。

認定について

出席状況や学習状況によっては、次の課程に進めないことがあります。認定の判断は、第5課程終了後、総合的に評価して行われます。

《2024年度の研修にご協力いただいた方々》

池田 名緒子（恵和社会復帰センター）

寺川 亜弥子（臨床心理士）

大久保 文代（地域活動支援センター）

中込 四郎（筑波大学名誉教授）

大滝 優（大滝優産業医事務所）

永原 伸彦（笠間の森カウンセリングルーム）

岡 檀（統計数理研究所医療健康データ科学研究センター）

沼田 世里（茨城大学）

小原 昌之（茨城カウンセリングセンター）

人見 健太郎（みとカウンセリングルームどんぐり）

檜村 正美（常磐大学）

堀 孝文（県立こころの医療センター）

香山 リカ（精神科医）

松田 瑞穂（株式会社日立製作所 日立総合病院）

北川 恭子（カウンセラー）

松野 好子（臨床心理士）

佐藤 康江（臨床心理士）

三輪 壽二（茨城大学）

正保 春彦（茨城大学）

森本 純代（臨床心理士）

杉江 征（筑波大学）

守屋 英子（臨床心理士）

高岡 美記（みとカウンセリングルームどんぐり）

五十音順 敬称略